

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：医療法人財団 良心会キロロハイツ	種別：精神障害者グループホーム事業
代表者氏名：白岩 智弘	定員(利用人数)：
所在地： 〒357-0063 埼玉県飯能市飯能7 1 7 TEL：042-980-5120	

③評価実施期間

令和 2年 8月 3日(契約日)～令和 3年 3月 31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○緊急時のバックアップ施設や協力医療機関と強固な連携が出来ている

医療法人財団良心会は、青梅成木台病院を母体として精神科医療機関や福祉施設など多数の関連機関・事業所から構成されている。当事業所グループホームキロロハイツは、今年度4月1日に、キロロハイツ本町とグリーンシャトーを統合して新生キロロハイツとして再スタートしている。このように関連機関・事業所が多数事業展開していることにより、当事業所にとっては事業所組織の経営・運営上、様々な支援を受けることが可能であり、緊急時のバックアップ体制が強固であり事業継続に安定感がある。

○個に応じたきめの細かい支援を行っている

利用者ごとのサービス内容を充実させるため、個別支援計画書において支援方針の根幹を「個別化の重視」とし、利用者の特性にきめ細かく対応している。具体的にはサービス管理責任者の指導を重要視し、利用者の多種多様な個別ニーズをつかむために小グループを編成し、外出行事を行っている。また、本年度より、週1回利用者とは面談する機会を設けて、意向や要望を適宜把握するとともに、適宜指導・助言が行えるようにしている。

○利用者一人ひとりのニーズや課題を検討し個別支援計画を作成している

個別支援計画は、施設長をはじめサービス管理責任者、支援担当職員などが出席するサービス担当者会議を開催し、利用者一人ひとりのニーズや課題を踏まえた上で個別支援計画を作成し、施設長の決裁を受けたうえで利用者へ提示する流れとしている。また、半年毎にサービス管理責任者によるモニタリングを実施しており、中間見直しや意向を汲み取っている。

◇特にコメントを要する点

○適切な組織体制構築に向けた人材確保を行う必要がある

2施設を統合し、グループ関連機関の支援を受けられる状況は事業所としての強味ではあるが、当事業所内の利用者および職員の高齢化が重要課題となっている。利用者に関しては、高齢化による精神疾患以外の病気を罹患するようになり健康管理、体調管理が最重要課題となっている。一方職員については、高齢となりケガや急病による対応が増えており、他の職員への負担が増しその分利用者へのサービスの質低下につながっている。さらに、ほとんどの職員がスマートフォンやパソコンなどに対応できず、業務の簡素化・効率化が難しい状況である。

○事業所の課題を明確にして事業計画に明示することが望まれる

利用者の受け入れ、職員配置、事業収支などの経営レベルの事業計画は、法人本部と協議して作成している。また、事業所の運営に関わる計画については、定例の職員ミーティングにおいて策定し、運営に関する事業の進捗状況の確認、安全衛生対策などを柱として事業推進に取り組んでいる。さらに、事業所が課題としている事柄については中長期事業計画や単年度事業計画に明示し、進捗や達成状況などが適切に把握できるようにすることも検討されたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて第三者評価を受けましたが今後の問題点などがより明確になったように思います。ただ、管理者とサービス管理責任者については、この評価を今後に活かして行けるとは思いますが、一般職員についてももう少し聞きとり調査等があればより良かったかと思えます。東京サイドでは、一般職員へのアンケート調査などもあり、そのために一般職員にも「第三者評価を受ける」という意識、「第三者評価を受けた」という実感が芽生えた。その点が、今回の第三者評価では得られなかったように思います。いずれにせよ、受けて「良かった」と思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり